

はじめに

さいたま市では、市民の皆様・事業者・行政の協働のもと、相互に支え合い、尊重し合う地域社会を築き、安心感のある、人にやさしい健康福祉都市の実現を目指してきました。

しかしながら、長期化する景気の低迷、少子高齢化など社会を取り巻く環境が刻々と変化する中、地域コミュニティの希薄化、ホームレスや世帯の孤立化、孤立死など、社会の不安要素はますます増大していくとともに、生活困窮者の自立支援や待機児童の解消など、新たな課題に迅速かつ適切に取り組む必要が生じています。

このような時代の変化や課題に対応するため、「さいたま市第2期保健福祉総合計画（地域福祉計画）」を策定いたしました。

この計画は、平成15年度に策定された同計画が、平成24年度に期間満了するとともに、社会保障制度全体も大きな転機を迎えていることから計画を見直し、市民生活に関連の深い教育・住宅・労働・まちづくりなどに関する事業と連携を図った計画として、新たに策定したものです。

また、本計画の部門計画である「さいたま市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「さいたま子ども・青少年希望(ゆめ)プラン」「さいたま市障害者総合支援計画」「さいたま市ヘルスプラン21」とも整合・連携を図った計画となっています。

行政はもとより、市民の皆様や関係団体などとの連携により、住んでいることを誇りに思えるようなまち、「しあわせ実感都市 選ばれる都市」となっていくことを目指して、各部門の関連事業を着実に進めていくとともに、本計画の推進に鋭意努力してまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提案を頂戴いたしました「さいたま市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会」の委員の皆様、また、パブリック・コメント等にご協力いただきました市民の皆様に心より感謝を申し上げます。



平成25年 9月

さいたま市長 清水 勇人

目 次

総 論

第 1 章 計画の概要

- (1) 計画策定の背景と目的 1
- (2) 計画の位置付けと期間 2
- (3) 計画策定の視点 4

第 2 章 地域福祉を取り巻く環境の変化と課題

- (1) 社会動向の変化 5
- (2) さいたま市の現状 9
- (3) 意識調査結果の概要 15
- (4) 計画課題の整理 16

第 3 章 計画の基本的な考え方

- (1) 基本理念 19
- (2) 基本目標 19
- (3) さいたま市の地域福祉の基本的な考え方 22
- (4) 地域福祉実現のためのしくみ 22

各 論

第 1 章 市民が主体となった健康福祉のまちづくり

- (1) 健康福祉文化の創造と推進 25
- (2) 地域における健康福祉活動推進のための環境づくり 27
- (3) 地域における健康福祉活動を担う人材の育成及び団体への支援 . 30
- (4) 地域の支え合いネットワークの構築 32
- (5) 社会参加と交流の促進 35

第2章 市民の権利擁護と情報共有、相談体制の充実

- (1) 人権意識の啓発及び福祉教育の推進 38
- (2) 権利擁護の推進 39
- (3) 情報共有の推進 42
- (4) きめの細かい相談・苦情対応の推進 43

第3章 総合的に市民の生活を支えるサービスの提供

- (1) 効果的・効率的なサービス提供のしくみづくり 45
- (2) 協働で進める保健福祉サービスの充実 46
- (3) サービスの質の向上と新たなサービスの開発 48

第4章 人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくり

- (1) 人にやさしい都市環境の創出 50
- (2) 快適で安全な居住空間の創出 52
- (3) 交通手段の確保・移動対策 53
- (4) 自主的な地域安全・防災対策の促進 54

第5章 社会福祉協議会との連携

- (1) 社会福祉協議会活動の強化と連携 55

資料編

- 1. 地域福祉に関する意識調査の概要 58
- 2. 用語解説 75
- 3. さいたま市社会福祉審議会地域福祉専門分科会委員名簿 95
- 4. さいたま市第2期保健福祉総合計画策定経過 96

※本文中で*印が付いている語句は、75ページ以降に「用語解説」がありますので、そちらをご参照ください。